

夜間間断散水によるチャノホソガの三角巻葉の発生抑制効果

要旨

チャノホソガの産卵時間(午後8時～午前0時)を重点に萌芽期～2葉期に夜間間断散水(1分散水, 5分止水, 6時間)を行うことで, 三角巻葉の発生を抑制。

背景

- ◆ 消費者の安全・安心志向に因るため, IPMや有機栽培への取り組みが増加中。
- ◆ 畑かん施設が整備される中, 水を活用した害虫被害抑制技術の開発に期待。
- ➡ 巻葉内での虫糞でチャの品質に悪影響を及ぼすチャノホソガの散水による巻葉発生抑制が可能か検討した。

成果の内容

- ◆ コスト低減 ➡ 薬剤費を約3,500円/10a/年削減
- ◆ 作業の省力化 ➡ 薬剤散布等の時間を0.9時間/10a以上削減
- ◆ 農薬に頼らない防除 ➡ 安全・安心の向上により実需者のさらなる信頼を確保

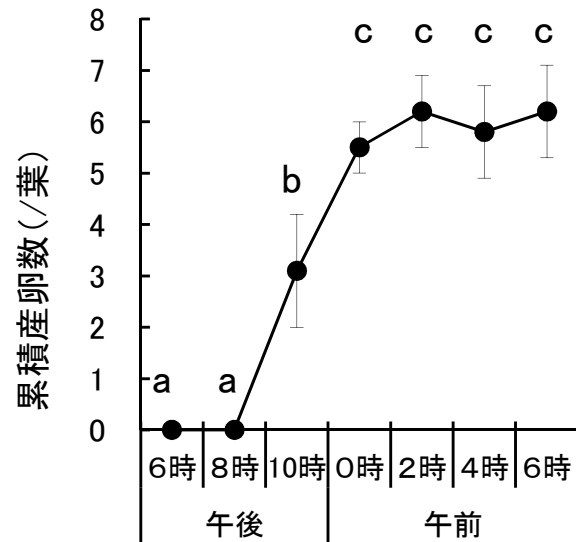


写真1 チャノホソガ成虫



写真2 チャノホソガ幼虫による三角巻葉状況

表 生育初期(萌芽期～2葉期)の午後7時～午前1時に間断散水した際のホソガ巻葉発生数(H28) (枚/m²)

試験区	二番茶	三番茶
散水	5.1 (44)	0.8 (30)
無散水	11.6 (100)	2.5 (100)

注) 1. 供試品種はすべて「ゆたかみどり」。
2. ()は無散水区を100にした場合の指数。

期待される効果

- ◆ IPMや有機栽培の支援技術となり, 「クリーンなかごしま茶づくり」が促進される。



お役立ち情報

No.3
(H29)

～鹿児島県農業で活用いただきたい新技術～

サイクロン式茶園クリーナーによる効率的な落葉除去

要旨

サイクロン式茶園クリーナー(以下;クリーナー)により, 樹冠面のスギヤクス等の落葉を効率的に除去でき, 作業時間も手作業と比較して大幅に短縮。

背景

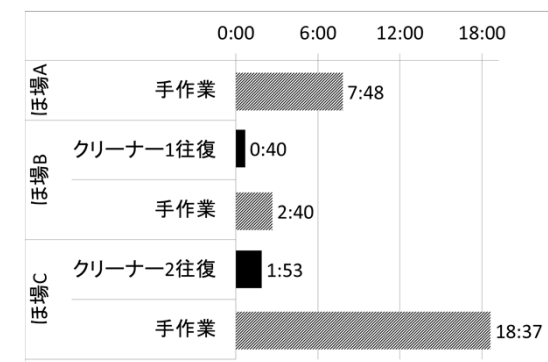
- ◆ 樹冠面に落下している枝葉は, 摘採時に茶葉に混入する恐れがある。
- ◆ 枝葉除去対策としては有効な手段はなく, 手作業で多くの時間と労力を費している。
- ➡ クリーナーを用いて, 落葉の除去法や回収率, 作業性について検討した。

成果の内容

- ◆ 摘採前で樹冠面が揃っている場合 ➡ 枝葉の90%程度除去(1回の往復処理)。
- ◆ 秋芽が伸び樹冠面が揃っていない場合や台風通過後の落葉が著しい場合 ➡ 1回の往復処理で60%程度, 2回の往復処理で80%程度除去。
- ◆ 回収時間 ➡ 1往復処理で1時間程度, 2往復処理では2時間程度と大幅短縮。



サイクロン式茶園クリーナー



注) 1. 試験は, 南九州市, 東市来で実施
2. 手作業は, 4～5人の延べ作業時間



処理前(上)と処理後(下)

期待される効果

- ◆ 落葉除去による茶への異物混入防止
- ◆ 時間短縮と労力削減 除去に対する労働費は7割以上低減



鹿児島県農業開発総合センター茶業部
TEL:0993-83-2811

農業開発総合センター

検索

